

観光・暮らし



観光情報の発信拠点 ももたろう観光センター

ももたろう観光センター

問 ももたろう観光センターと既存の観光案内所の連携は。また、多くの観光客に利用してもらうための施策は。

答 ももたろう観光センターは、観光情報の発信と観光客受け入れの拠点として、3月6日にオープンした。岡山駅構内にある岡山市観光案内所では観光案内や交通案内のお尋ねが多いが、より詳しく知りたい場合は、ももたろう観光センターを案内するなど、役割分担を図りながら両施設の相乗効果を高めたい。また、市民からおすすめの観光スポットや飲食店など、地元ならではの口コミ情報を集め、観光客に紹介するサービスを行っている。

宝木投下時間変更の効果

問 西大寺会場の宝木投下時間を22時に変更したことによる参加者数、参加者層、周辺への影響、経済効果は。

答 投下時間が早まった今回の会場は、家族連れや若者も多く、500年の歴史と文化に多くの人々が触れることができたと考えている。本市の豊かな歴史・文化を保存、継承し、積極的に活用

することで地域文化の再認識と独自の魅力を形成することが可能となり、地域への誇りと愛着を醸成しながら、魅力的な観光資源の創出にもつながると考えている。

また、観光客等の出足も早くなり、商店街では飲食店を中心に来店者が増加した。参加者9,500人、観客3万3,000人で、昨年と比べて、それぞれ、500人と3,000人の増加となった。

水道局と下水道局の統合

問 より効率的な行政のあり方として水道局と下水道局を統合してはどうか。

答 下水道事業は、現在も普及、拡大を進めている段階であり、運営に当たっては一般会計からの多額の繰り入れが必要である。一方、水道事業は100年を超え

る歴史を持ち、多くの老朽施設があり、施設の更新事業を中心とした維持管理の時代になっている。水道料金と下水道使用料を同時徴収するなど連携もしているが、水道事業と下水道事業の現状は置かれている状況が異なっ

ており、統合の課題、問題点を研究したい。

県立児童会館

受け入れの可能性

問 県が児童会館を廃止する予定だが、譲渡の話があった場合、条件によっては受け入れる可能性はあるのか。

答 県は「市町村の設置する児童館等が多数整備され、県設置の大型児童館については、その役割を終えている。建物自体も築後46年余を経過して老朽化も著しい」という理由で廃止の方向を出しているものであり、市としては受け入れる予定はない。

福浜地域センター（仮称）

公民館の敷地内に整備

問 福浜中学校区に整備予定の地域センターの開設場所を変更し、福浜公民館の敷地内とすることが示された。場所が狭すぎるが再検討はしないのか。機能や人員及びスペースはどうなるのか。

答 福浜公民館の敷地内に建築する場合は、面積の制約を受けるが、会議室やトイレ等を公民館と共有するなどの有効活用を図りながら、他の地域センターと同様の機能・体制で、サービス提供が可能となる面積を確保する。不足が予想される駐車スペースは近隣に確保する方向で検討中だ。



地域センター開設予定の福浜公民館